

就 任 あ い さ つ

同窓会会長 西村 貞一 (45 回)



先日開催されました役員総会において、皆さま方のご推挙をいただき、甲陽学院同窓会会長に就任いたしました。微力ながら同窓会の活き活きとした発展に向けて、精一杯努力してまいりたいと存じますので、皆さまのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

有田前会長は財政の健全化、甲陽ファンドの設立、ホームページの立ち上げ等々に取り組み、同窓会活性化にご腐心をされました。そのご努力、ご尽力に対して心より感謝申し上げます。

今年は学校が創立95周年を迎え、また同窓会が90周年となる、まさに大きな節目の年です。このような重要な時に、宮崎武男初代会長から数えて7代目となる伝統ある甲陽学院同窓会会長の任を負う事は真に身の引き締まる思いであります。

甲陽学院の創立者である辰馬吉左衛門翁は古人(管子)曰く「一年の計は穀を植うるにあり、十年の計は樹を植うるにあり、百年の計は人を植うるにあり」との言葉を信条としておられました。まさにあと5年後に学校、10年後には同窓会が共に人を育成する百年の計である百周年のメモリアル・ピリオドを迎えます。土を耕し、種を植え、肥料と水を遣る時節から、咲く花を愛で、そして熟成の時に実った果実を賞味するためには、まだまだ越え渡らなければならない山や谷や河があり、土台作りから始めなければならない多くの課題が山積していると承知しています。

いま我々には奨学金ファンド募金の一億円募集の目標達成や、中断している同窓会名簿の製作、同窓生が集える同窓会の拠点づくりや、百年の歴史にふさわしい同窓会規約づくり、若い世代が同窓会活動へ参画するための積極策の推進等の目前に横たわっているテーマを根気強く解決していかねばなりません。それを成し遂げるのは、同窓会メンバーの一人一人の力添えがあってこそと考えております。ぜひご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

今年の甲陽だよりの巻頭言で有田会長は、ケネディ35代米国大統領の言葉を引用されました。まさに私は多感な高校の3年間に在職したケネディから多くの影響を受けました。彼は「祖国があなたに何をしてくれるのかを尋ねるのでなく、あなたが祖国の為に何ができるのか」と述べました。この言葉を肝に銘じながらも、少し柔らかく肩の力を抜いて、会員が全員参加の意識で主体的に明るく同窓会活動に参加されることを願っております。

日本敗戦の年に生まれ、米国の占領が終わってから小学校に入った私達の世代は、産めよ増やせよの世代と団塊の世代に挟まれた、小さな谷間の百合のような学年ですが、数えると90学年に及ぶ長い甲陽学院同窓会の歴史の、ちょうど真ん中ですから、老・壮・青の会員の絆をしっかりと結び繋いでいく使命と役割を果たさなければならないと強く自覚している次第です。高く甲陽の旗印を掲げ、「明朗・潑刺・無邪気」の校是のもと、甲陽健児のあたたかいチームワークで、来る百年を迎えようではありませんか。

同窓会の運営は役員はじめ、委員会、支部会の皆さま方のご支援とご協力の上に成り立っております。私はこれら横の連携をさらに強くして、より一層会員同士の交流の場が広がるよう、心がけてまいりたいと存じております。そして、そのような交流の広がりを通じて、甲陽学院同窓会が関西～日本の政治経済や文化の発展に少しでも貢献できるように念じて、就任の挨拶といたします。

甲
陽
だ
よ
り

発行所

〒662-0096 西宮市角石町3-138

甲陽学院同窓会

発行人 西村 貞一

印刷所

株式会社 小西印刷所

西宮市今津西浜町2番60号

TEL (0798)-33-0691

同窓会事務局専用

TEL 0798-71-4888

(月・水・木 10:00~16:00)

FAX 0798-71-4890

E-mail:

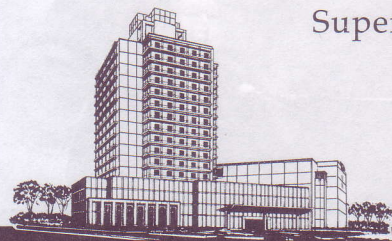
fvgp1650@mb.infoweb.ne.jp

同窓会ホームページ

<http://www.koyogakuin-oba.jp>

Superbly located for business or pleasure.

www.novotelkoshien.com



西宮市甲子園高潮町3-30 TEL.0798-48-1111



ノボテル甲子園



A worldwide leader in hotels, tourism and services

松明は新しい世代に引き継がれた

前会長 有田 和男 (31回)

*はじめに・・・

甲陽学院同窓会の役職に選任され、もう17年の歳月が過ぎ去りました。莊子の書に「人の天地の間に生きるは、白駒の隙を過ぐるごとく、忽然たるのみ」とあります。まさに光陰矢のごとしでありました。

17年前に、その時の役員総会で同窓会の財政危機に対応する執行部の提案が否決されました。これに対して時の高垣会長(15回)に財政問題を含め「同窓会改革案」を提出したのが最初の切っ掛けでした。

ある日、突然に高垣会長から呼び出しを受け、ご指定のホテルに改革の資料を持ち出かけました。お茶でも飲みながら会長にご説明をするのかと呑気に構えて出かけました。ところがホテルに一室がとられ、同窓会の重鎮である西松(1回)・山野井(4回)・友國(8回)・高垣(15回)・中島(22回)の恐れ諸先輩が難しい顔でテーブルを囲まれました。本当に心臓が縮み足がすくむ思いでした。

そこで高垣会長から、お前の「同窓会改革案」を詳細に説明せよとのことで、諸先輩から厳しい質疑応答があるなか、4時間にわたる議論が始まりました。最後に山野井先輩から「お前の考えはよく判った。吾々はお前を信頼する。同窓会の改革を全てお前に任すから、高垣会長に従って進め」と厳命をされました。

次いで西松先輩が言われた言葉が、私が同窓会の会務に携わるに当たって、常に心の戒めとなり支えとなりました。

それは後で知ったのですが、中国南宋の「宋名臣現行録」の中にある三つの言葉でした。第一は「能く見る」こと、つまり先の見通しを立てること。第二は「見て能く行う」こと、つまり、見通しに従って実行に移すこと。第三は「當に行うべくんば必ず果決す」こと、即ち自分が決めた事は、必ず責任を持って最後までやり通すこと、この三つの難事を避けては同窓会の改革は成功しない。お前を信じてまかすから、能く心するように、と諭されました。一見、平凡な言葉かも知れませんが、私が同窓会の会務を行うに当たって、常に座右の銘とさせて頂きました。

*同窓会財政について・・・

高垣会長は、私に「副会長 兼 専務理事」の役職をと言われました。同窓会の役員を永年勤められた方々を差し置いて私が副会長ではおこがましい。専務理事として会務を統括させて頂きますと、専務理事に就任させて頂きました。

最初に手がけたのは危機的状況にある同窓会財政でした。今までの財政手法にとらわれず、毀誉褒貶を覚悟して全てにわたって一から出直しました。

同窓会財政の会計を、今までの年会費収入を大学ノートに手書きするのを廃し、同窓生1万数千人の資料を全てパソコンに入力し、収入・支出状況も同時に入力しました。これを一から始めるのは大変な作業で、同窓生である学校の先生の協力なくして出来るものではありませんでした。

特に、佐藤秀明(53回)先生を中心に、大川貴史(55回)・

今西昭(57回)先生のご苦労なくして、現在の財政再建は出来なかったものと思います。

同時に、収入面で財政再建の原動力となった「特典を付与した終身会費制度」の発足も、あえて名前は申し上げませんが、数名の後輩の智慧と実行力無くしては考えられません。

これらにより数年で財政の再建はなり、1回生の方々がご苦労して集められた「基本金」の取り崩しもなくなり、その補填も完了しています。さらに、今後の赤字対策として設けました「新基本金」制度も順調に積み立てが増加しています。よって、当面はある時期までは現状を推移するものと見ています。

*会報の改革について・・・

私は「会報」を同窓会と同窓生全員を直接に繋ぐ唯一の手段と考え大切にしてきました。

16年前の会報と現在の会報を見比べて頂ければ一目瞭然とおわかり頂けると思います。この会報の改革も、当時の会報編集委員長であった西村公男(46回)氏を中心とした仲間のご苦労なくしては考えられません。彼はホームページにも努力されており感謝あるのみであります。

*同級生の皆様へ感謝・・・

かつての古い体質を持った同窓会の改革は、決して一人の力・考えて成し遂げられるものではありません。私を囲む同窓生の皆様のご理解と励ましくして成し遂げられるものではありません。私は良き仲間恵まれたと感謝と御礼を申し上げます。

今年は同窓会が発足して95周年、当時の先輩方の熱意とご苦労に心からの感謝を申し上げます。故・高垣会長のお言葉「母校と共に歩む吾等が同窓会」が胸を過ってなりません。同窓生の皆様に「有り難う御座いました。」と御礼を申し上げます。

*終わりに・・・

会長の最も大きな仕事は、次期会長を何方に託すかであると言われてきました。3年ほど前から会報の巻頭言に、若手層の活躍と台頭を記してきました。今回、西村貞一(45回)氏と言う逸材を会長として得た事は望外の喜びであります。ご承知のとおり同氏は、サクラクレパスの社長であると同時に、関西財界のトップグループの一人として活躍されています。

まさに故・ケネディ大統領の就任の言葉である「松明は新しい世代に引き継がれた」と言って過言ではありません。有り難う御座いました。



卒業式で祝辞を述べられる有田氏

会 務 報 告

平成23年度の会務につきまして、平成24年 4 月27日に開催されました役員総会の議事を要約し報告します。

1 平成23年度会務報告

会報編集委員会から84・85号を発行したことについて報告がありました。次に、会員総会運営委員会から昨年 8 月28日の会員総会についての報告が続きました。さらに、甲陽ファンド管理委員会の報告、IT委員会の報告がありました。IT委員会では「同窓会ホームページ」を立ち上げ、過去の「甲陽だより」を掲載したことの報告がありました。その後、創立95周年記念事業運営委員会からの報告、会則検討の現状についての報告がありました。

2 平成23年度決算報告・監査報告

下に掲載の決算報告書が説明され、水島監事・植木監事からの監査報告を受けて、平成23年度決算が承認されました。

3 平成24年度活動方針と予算

活動方針としては、会報の発行、夏の会員総会の計画、奨学金ファンドの更なる展開、同窓会ホームページの充実、会則検討、地域甲陽会への協力、などが説明されました。

その上で、下に掲載の予算書の説明が行われ、承認されました。

4 会長選任 監事選任

会長の任期満了に伴い、新会長の選任について話し合わせ、西村貞一氏(45回、現副会長)が満場一致で新会長に選出されました。

次に、任期満了に伴う監事の選任についても話し合わせ、二宮一明氏(33回)、水島昇氏(49回)、植木努氏(65回)が選出されました。水島氏と植木氏は再任。

終身会費納付額設定表(平成24年4月1日~平成25年3月31日まで)

93回~87回	30,000円	73回	37,000円	59回	23,000円
86回	50,000円	72回	36,000円	58回	22,000円
85回	49,000円	71回	35,000円	57回	21,000円
84回	48,000円	70回	34,000円	56回	20,000円
83回	47,000円	69回	33,000円	55回	19,000円
82回	46,000円	68回	32,000円	54回	18,000円
81回	45,000円	67回	31,000円	53回	17,000円
80回	44,000円	66回	30,000円	52回	16,000円
79回	43,000円	65回	29,000円	51回	15,000円
78回	42,000円	64回	28,000円	50回	14,000円
77回	41,000円	63回	27,000円	49回	13,000円
76回	40,000円	62回	26,000円	48回	12,000円
75回	39,000円	61回	25,000円	47回	11,000円
74回	38,000円	60回	24,000円	46回~	10,000円

● 平成23年度 決算報告書 ●

[収入の部]				[支出の部]			
科 目	決 算 額	予 算 額	差 引 額	科 目	決 算 額	予 算 額	差 引 額
会 費	10,289,000	8,700,000	1,589,000	人 件 費	2,114,960	2,106,000	8,960
年 会 費	1,500,000	1,000,000	500,000	月 手 当	1,536,000	1,536,000	0
終 身 会 費	1,909,000	1,400,000	509,000	夏 冬 手 当	320,000	320,000	0
新卒入会金	1,164,000	1,200,000	△36,000	通 勤 費	258,960	250,000	8,960
新卒年会費	2,716,000	2,800,000	△84,000	交 通 費	0	100,000	△100,000
新卒終身会費	3,000,000	2,300,000	700,000	需 要 費	1,013,039	1,150,000	△136,961
				通 信 費	334,257	500,000	△165,743
会報広告料	60,000	60,000	0	事務消耗品費	58,242	50,000	8,242
総会会費収入	1,347,000	1,000,000	347,000	備 品 費	237,500	100,000	137,500
利子収入	8,221	40,000	△31,779	IT関係費	383,040	500,000	△116,960
スラップ収入	4,800	0	4,800	会 議 費	2,515,911	2,250,000	265,911
雑 収 入	8,060	0	8,060	会員総会費	1,587,043	1,200,000	387,043
寄 付 金	0	0	0	役員総会費	222,054	250,000	△27,946
				理事会費	189,252	250,000	△60,748
収入合計	11,717,081	9,800,000	1,917,081	委員会費	338,361	300,000	38,361
特別積立金繰入	0	0	0	懇 談 会 費	179,201	250,000	△70,799
基本金解約				事 業 費	3,343,425	3,690,000	△346,575
繰 越 金	19,184,173	19,184,173	0	甲陽だより	1,082,683	1,000,000	82,683
合 計	30,901,254	28,984,173	1,917,081	郵 送 料	1,417,374	1,500,000	△82,626
◎H23年3月末日現在 現預金残高明細				振替用紙	134,662	140,000	△5,338
*三井住友銀行(普通預金) 4,761,528円				封 筒	196,325	200,000	△3,675
*郵便局(普通預金) 315,115円				記 念 品	348,334	500,000	△151,666
* // (振替通知票) 1,356,400円				母校後援費	140,000	200,000	△60,000
*三菱信託銀行(普通預金) 1,296,335円				地域活動費	24,047	150,000	△125,953
*手持現金 135,344円				雑 費	157,797	290,000	△132,203
合 計	7,864,722円			校 内 志	30,000	40,000	△10,000
甲陽F預かり金	2,138,600円			慶弔その他	28,219	100,000	△71,781
甲陽ファンド通帳へ				振 替 料	92,820	100,000	△7,180
合 計	5,726,122円			その他雑経費	6,758	50,000	△43,242
平成24年4月18日				支 出 合 計	9,145,132	9,586,000	△440,868
本日、会計監査の結果、				特別積立金繰入	30,000	30,000	0
帳簿と金額に相違ないことを、ここに確認いたしました。				新基本金繰入	15,000,000	15,000,000	0
監 事 水 島 昇 印				予 備 費	1,000,000	4,368,173	△3,368,173
植 木 努 印				支 出 総 計	25,175,132	28,984,173	△3,809,041
				収入総計	30,901,254		
				支出総計	25,175,132		
				翌年繰越金	5,726,122		

(単位:円)

● 平成24年度 予算書 ●

[収入の部]				[支出の部]			
科 目	H24年度	H23年度決算	H23年度予算	科 目	H24年度	H23年度決算	H23年度予算
会 費	9,300,000	10,289,000	8,700,000	人 件 費	2,106,000	2,114,960	2,106,000
年 会 費	1,300,000	1,500,000	1,000,000	月 手 当	1,536,000	1,536,000	1,536,000
終 身 会 費	1,500,000	1,909,000	1,400,000	夏 冬 手 当	320,000	320,000	320,000
新卒入会金	1,200,000	1,164,000	1,200,000	通 勤 費	250,000	258,960	250,000
新卒年会費	2,800,000	2,716,000	2,800,000	交 通 費	100,000	0	100,000
新卒終身会費	2,500,000	3,000,000	2,300,000	需 要 費	850,000	1,013,039	1,150,000
				通 信 費	400,000	334,257	500,000
会報広告料	60,000	60,000	60,000	事務消耗品費	50,000	58,242	50,000
総会会費収入	1,500,000	1,347,000	1,000,000	備 品 費	100,000	237,500	100,000
利子収入	30,000	8,221	40,000	IT関係費	300,000	383,040	500,000
スラップ収入	0	4,800	0	会 議 費	2,500,000	2,515,911	2,250,000
雑 収 入	0	8,060	0	役員総会費	1,500,000	1,587,043	1,200,000
寄 付 金	0	0	0	理事会費	222,054	250,000	250,000
収入合計	10,890,000	11,717,081	9,800,000	委員会費	250,000	189,252	250,000
				懇 談 会 費	300,000	338,361	300,000
				事 業 費	200,000	179,201	250,000
繰 越 金	5,726,122	19,184,173	19,184,173	甲陽だより	1,000,000	1,082,683	1,000,000
収入総計	16,616,122	30,901,254	28,984,173	郵 送 料	1,500,000	1,417,374	1,500,000
				振替用紙	140,000	134,662	140,000
				封 筒	200,000	196,325	200,000
				記 念 品	500,000	348,334	500,000
				母校後援費	200,000	140,000	200,000
				地域活動費	150,000	24,047	150,000
				雑 費	290,000	157,797	290,000
				校 内 志	40,000	30,000	40,000
				慶弔その他	100,000	28,219	100,000
				振 替 料	100,000	92,820	100,000
				その他雑経費	50,000	6,758	50,000
				支 出 合 計	9,536,000	9,145,132	9,586,000
				特別積立金繰入	30,000	30,000	30,000
				新基本金繰入	0	15,000,000	15,000,000
				予 備 費	7,050,122	1,000,000	4,368,173
				支 出 総 計	16,616,122	25,175,132	28,984,173

(単位:円)

甲陽学院同窓会奨学金ファンド醸金者一覧

平成24年1月1日以降5月31日までにファンドに醸金くださいました方のご芳名を以下に掲載いたします(敬称略)。まことにありがとうございました。(平成23年12月31日以前に醸金された方は73号～85号に掲載しております。)

18回 田中 長雄	39回 永滝 純雄	54回 中島 祥好	57回 森野以知朗
20回 川島 茂	40回 安藤 順夫	54回 中野 茂	57回 山本 潔
25回 平井 健男	41回 五十田安夫	55回 桜井 太郎	57回 横山 充
27回 河上芳三郎	41回 竹田 駿輔	55回 浜川 一郎	59回 島本 佳憲
27回 光野 昭	42回 矢吹 宏	56回 廣本 博史	60回 阿多 博文
28回 中島 伸市	43回 平井 真一	56回 光田 信明	60回 貫名 貞之
31回 北村 誠造	43回 藤本 勝司	57回 青山 敬之	62回 長宅 芳男
31回 鈴木 登	43回 三田 和一	57回 安藤 暢英	62回 吉岡 泰彦
31回 成住 俊二	43回 渡邊 功	57回 岩田 圭一	64回 生田 勇
31回 松本 治三	45回 秋山 哲郎	57回 薄木成一郎	64回 岡原 正周
31回 八木 頼夫	45回 岡本 定行	57回 江藤 弘	64回 金岡 泰弘
33回 池上 吉藏	45回 小林 智夫	57回 大塚 喜久	64回 藤本 周平
33回 辰馬 宗信	46回 井上 康宏	57回 大野 恭太	65回 今井 順二
33回 森下 哲志	46回 堀口 貞茲	57回 片山 望	65回 黒田 良祐
34回 江隈 一夫	47回 多賀 豊	57回 白尾 誠二	68回 横田 茂
34回 横内 昭	47回 森野 美樹	57回 白木 秀典	69回 大津 雅亮
35回 国領 薫	49回 桐山 光市	57回 洲崎 良朗	74回 徳岡 俊治
36回 福田 達	49回 長谷 斉	57回 巽 健	78回 高木 浩二
37回	51回 井阪 博	57回 寅丸 雅男	83回 田中宇多留
38回 高寺 美慈	51回 内田 邦彦	57回 中村 卓司	93回生 育 友 会
38回 松林 輝芳	52回 土居 章展	57回 中務 裕之	
38回 三木 則夫	54回 市川 元	57回 縄田 正	
39回 加輪上敏彦	54回 近藤 真範	57回 藤井 浩治	

毎号毎号同じようなお願いばかりで恐縮ですが、今回も奨学金ファンドへのご協力をお願い申し上げます。

このファンドは、平成17年度から募金活動を始め、翌平成18年度から母校の在校生への奨学金支給を始めました。奨学生は、定期採用6名(各学年1名)と緊急採用(中学2名まで、高校2名まで)で、その選考は母校に一任しております。平成23年度は8名の在校生に奨学金(1人年間20万円)を支給いたしました。また、平成18年度からでは延べ45名の生徒が本奨学金を受給しました。

昨今の社会・経済情勢は、甲陽の生徒・保護者にとっても決して無縁ではなく、会社の倒産、リストラ、離婚など、母校の後輩たちを取り巻く環境は、良好とばかりは言えません。本奨学金制度は、間違いなく母校と在校生にとって有意義なものとなっています。

この奨学金制度を永続させるためには、ファンド資金の充実が必要なことは申すまでもありません。将来的には1億円にという目標を掲げてまいりましたが、平成24年3月までの醸金総額は約5272万円となっております。また平成23年度だけでは約321万円であり、やや低調になってきたかもしれません。

醸金方法は下の通りです。一口1万円から何口でも結構です。また、一度ならず何度も醸金下さる方も大勢いらっしゃいます。ありがとうございます。なお税法上の寄付控除の対象にはなりません。

皆様ご存じのように、母校甲陽学院には、保護者・卒業生からの寄付を募集しないという誇り高い方針があります。そんな中で、奨学金ファンドは、同窓生として母校に貢献できる数少ない機会の一つです。皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

〔醸金方法〕

- (1) 同封の振込用紙を利用し、通信欄にファンドへの醸金の旨を明記して、郵便局もしくは三井住友銀行の「甲陽学院同窓会」の口座にお振り込み下さるか、
 - (2) 三菱東京UFJ銀行芦屋支店 普通口座3998990 口座名義 甲陽学院同窓会奨学金ファンド にお振り込み下さい。
- (2)の場合、振込人の卒業回生が分かるようにお願いします。

学校だより

創立記念音楽会

去る 4 月 29 日 (日・祝) に本学院高等学校講堂に於いて、創立記念音楽会が行われました。今年は、延原武春氏が音楽監督を務めるテレマン室内オーケストラとバロックヴァイオリンの名手であるウッラ・ブンディースさん、チェンバロ奏者の高田泰治さんをソリストとしてお招きしました。ブンディースさんは、今年の春からテレマン室内オーケストラの首席客演コンサートマスターに就任され、今回はその就任披露演奏会のために来日されました。

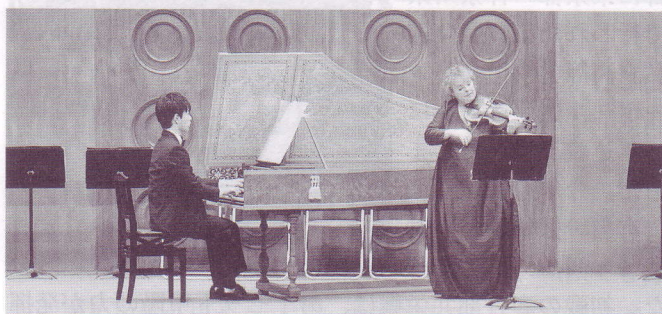
当日は開演前のリハーサルで、ブンディースさんが曲順の変更を提案され、以下の順番で演奏されました。

1. テレマン: 「組曲 ハ短調」
2. J.S. バッハ: 「イタリア協奏曲 ヘ長調」 (チェンバロ独奏)
3. ヘンデル: 「合奏協奏曲 ロ短調」
4. J.S. バッハ: 「ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ 第1番 ロ短調」
5. J.S. バッハ: 「ブランデンブルク協奏曲 第5番 ニ長調」

1 曲目の演奏の前に延原氏が現代楽器と古楽器の違いについてお話をされました。後ほどブランデンブルク協奏曲でフラウトトラヴェルソのソリストを務められる出口かよ子さんがフルートとフラウトトラヴェルソの音の違いを披露されました。演奏メンバーが入場後、チェロの奏法についてもお話があり、チューニングが始まって、延原氏がそのまま 1 曲目の指揮をされました。ブンディースさんがオーケストラをリードする姿が印象的でした。演奏後、2 曲目の準備をしている間も延原氏がマイクを握って 2 曲目で使用するチェンバロについてのお話をされました。実際にソリストの高田さんが音を出して音色の違いなどを聞くことができ、時折、冗談を交えながらの楽しいお話に会場は和やかな雰囲気となりました。個人的には、チェンバロの音色が講堂の雰囲気にとても良くマッチしていたように思います。3 曲目の作曲者のヘンデルについてのお話の後、合奏協奏曲の演奏が始まりました。ブンディースさんが指揮と独奏を務められ、1 曲目とは違って立って演奏されていました。



休憩をはさんで、後半は延原氏の曲についてのお話があったから、ブンディースさんと高田さんのお二人によるバッハのヴァイオリンとチェンバロのためのソナタで始まりました。ブンディースさんの弾き方がオーケストラの中で弾くときとは趣が異なっていたと思います。



5 曲目はフラウトトラヴェルソも加わりバッハのブランデンブルク協奏曲第 5 番が演奏されました。「バロック楽器で演奏すると音のバランスが非常に良い」という演奏前の延原氏のお話の通り、均整のとれた響きが心地よく感じられました。

演奏終了後、大きな拍手の中、4 月に入学したばかりの中学一年生二人が延原氏とブンディースさんに花束を渡しました。そのお返しに J. S. バッハの「G 線上のアリア」をアンコールで演奏してくださいました。爽やかな陽気の日に、心穏やかなひとときを楽しめた音楽会でした。

(溝口貴浩 記)



学校だより

学校だより

高等学校バレーボール部 全国私学大会2年連続出場

平成24年4月1～4日に東京都・神奈川県で行われた第17回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会に2年連続出場いたしました。今年も前回以上に有名・強豪校との対戦カードとなりました。



初戦の春日部共栄戦は、第1セット甲陽の力が発揮でき流れよく先取し、相手を驚かせたが、常連校の意地と粘りに逆転負け。つづく鎮西学院戦は、相手のサウスポー3人とライト攻撃やコンビプレーに翻弄された。翌日の花園戦は、近畿勢同士の戦いでもあり、今まで勝利したことのない相手、出だしから優勢に進め、フルセットにはなったものの余裕のある勝利でした。予選最終の浜松日体戦は、本校の弱点を分析されており、同じポイントをことごとく攻められ最後まで修正できず、次への課題の見つかる敗戦でした。結果、予選グループ戦を4位で終わりました。

現在チームは少しメンバーがかわりましたが、夏の総体・近畿・全国大会に向けて、ひとつでもより大きな試合に出場する夢と、また自分達の志望校へ向けての夢の実現めざし毎日鍛えております。どうか応援よろしくお願いたします。

【全国私学大会】

- ① 負 甲陽1 - 2 春日部共栄 (埼玉)
- ② 負 甲陽0 - 2 鎮西学院 (長崎)
- ③ 勝 甲陽2 - 1 花園 (京都)
- ④ 負 甲陽0 - 2 浜松日体 (静岡)



甲陽健児の熱い一日 高等学校の(体)育(祭)レポート



プログラムの表紙

5月13日(日)の「母の日」に高等学校のグラウンドを会場として恒例の体育祭が開催されました。母校の最近の体育祭をご覧になっておられない方も多いかと思うので、少しでも雰囲気をご想像していただけるように、プログラムの中からいくつかの種目についてご紹介いたします。

甲陽学院高等学校 体育祭

プログラム

演技種目	開会式 9:30	競技 2C	閉会式	競技 2C
	・選手入場	鳥井 2B	・選手入場	森本 2C
	・開会宣言	松本 2A	・得点発表	・優勝旗授与
	・選手宣誓	中西 2D	・表彰	・校長講話
	・校旗 大会旗掲揚		・開会宣言	平野 2B
	・学院歌斉唱			

No.	演 技	予 行	体育祭	指揮者	年 組	得 点
						1位 2位 3位 4位 5位 6位
1	学院体操			齊藤	2 C	
2	100m走	予選	準決勝	黒木	2 C	
3	綱引き	入場	1回戦～	西本	2 B	
4	400m走	予選	決 勝	岸田	2 A	30 20 10 7 4 1
5	30人31脚	予選	準々決勝	中井	2 C	
6	1500m走	練習	決勝	齊藤	2 C	30 20 10 7 4 1
7	綱引き	ナシ	決勝	西本	2 B	80 50 25 10
8	参るリレー	練習	決勝	山本	1 C	60 40 30 20 10
9	学年対抗騎馬戦	練習	決勝	船引	1 A	80 50 25
10	クラブ対抗リレー	ナシ	決勝	長岡	1 B	
..... 昼 食						
11	The相撲	予選	決勝	門田	2 B	60 35 20 15
12	100m走	ナシ	決勝	黒木	2 D	30 20 10 7 4 1
13	30人31脚	ナシ	決勝	中井	2 C	80 50 30 15
14	騎馬戦・個人戦	予選	決勝	恩知	2 D	60 35 20 15
15	学年対抗リレー	練習	決勝	三輪	1 D	80 60 30

* 全種目 失格は 上記以外の点とする

* 学年対抗で総合優勝を争うこととする

学年色 1年団…緑 2年団…赤 3年団…青

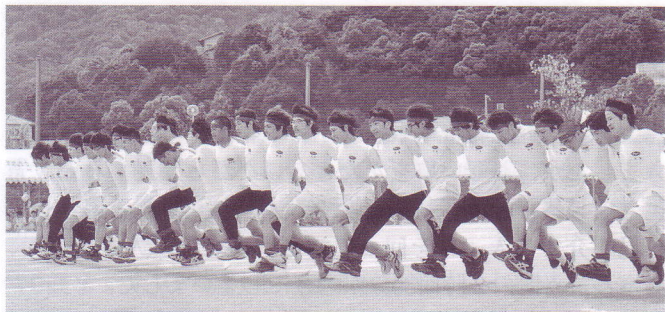
体育祭企画委員長 萩野 2C 得点・記録係長 森本 2C
器具・用具係長 高岡 2A 招集係長 山口 2B
審判係長 藤井 2D 誘導係長 平田 2D

上記プログラムにあるように、高等学校では学年対抗方式で総合優勝を競います。派手な衣装の「応援合戦」や昼休みの「フォークダンス」こそありませんが、生徒たちが力を合わせて盛り上げていく生徒会行事としての伝統は守られていると感じます。

学校だより

学校だより

「30人31脚」はクラス対抗の競技です。1・2年生は練習不足のせいか途中で転んだり紐が外れたりして、なかなかゴールできないクラスが続出しましたが、3年生の各クラスは信じがたい猛スピードで走り抜け、上位を独占しました。



30人31脚

「綱引き」もクラス対抗です。3年生は人数が少ないというハンディがあるにもかかわらず、抜群のチームワークでその強さを見せつけました。



そして生徒の優勝チームと教員（ドリーム）チームとの最後の決戦は今も健在です。今年は生徒チームもなぜか手を抜かず、意外に接戦となりましたが、果たしてその結果は…



綱引き（教員チーム）

「クラブ対抗リレー」は今も人気種目です。各クラブがさまざまなものをバトンにして走りますが、さすがに柔道部は顧問の坂田由史先生を背負って見事にゴールしました。でも少し気の毒ですね。（どっちが？）



クラブ対抗リレー（柔道部）

「The 相撲」は比較的新しい種目です。各学年から選ばれた3人1組の団体戦で、観覧席前に作られた土俵代わりの台の上で行われます。体に派手なペインティングをするなど多少笑いを狙った演出もありますが勝負は真剣そのものです。体格に恵まれた方が勝つとは限らないのが相撲の醍醐味です。



The相撲

「騎馬戦」は団体戦と個人戦があります。団体戦は学年対抗で3学年の騎馬がいっせいに対戦し、各騎手が互いに帽子を取り合って残った騎馬の数で勝敗を決めるのに対し、個人戦は1対1の勝ち抜き戦で、騎手同士が組み合って、優位になった方の騎馬が勝ち上がります。下の写真は個人戦の一場面です。体力だけでなく4人の気持ちをどうまとめるかも要素の一つといえます。甲陽健児が燃える伝統の種目です。



騎馬戦（個人戦）

この日は天候にも恵まれ、来場して頂いた保護者の方々には、お子様方の元気な姿が「母の日」にふさわしいプレゼントになったのではないかと思います。

学校だより

会員だより

25回 天文会 (S20年卒 橋組)

平成24年 4月20日 (金) 曇りの午後今年も梅田の阪急グランドビル28階グランドビル司 (日本料理) にて開催致しました。

平成23年にお伝えしましたが、平成5年から、毎年4月20日に同窓会を催し、今年で二十回目を迎えました。昨年桜組の安達氏より桜、桃組合同クラス会への賛同は如何ですかとお話がありました。今回、出席者の総意で、年々出席人数が減って来ましたが、まだ今年の状況では、暫くはこのままで続けようとの、意見でした。病いで苦しんでいる森山君や村上宗君が出席してくれましたので、なんとか5名での会合となりました。常連の押目君、新美君が、所用にてお休みですので、来年は又楽しめるのではと思っています。

各自の近況報告及び欠席者の現状を知ってる者が説明をしながら約2時間、歓談、飲食を楽しみました。最後にお互いに健康に気を付けて、来年も元気で再会出来る事を誓い合って、散会致しました。来年も4月20日の開催を司にて行うことに決定しましたが、何名と会えるかが楽しみです。持病の方が多くて、出席者がどうかと思いましたが、幸い今年は5名となりました。

猶当日の出席者は下記の5名です。

左より

村上 宗徳、波々伯部繁、浅香 隆一、
森山 泰史、村上 誠一

(波々伯部繁 記)



42回 三六会 (サブロクカイ) 報告

平成23年 8月28日 (日) 15時30分～18時
於 ノボテル甲子園

本年 (平成23年) は、当学年が高校卒業後50年の“ホームカミング”イヤーに当たり、会員総会で特別な紹介や記念品の贈呈が行われることになっているとのことなので、この総会並びに終了後開くことになっている学年同窓会に出来るだけ多くの同窓生が集うように、名簿の整理から始め、かなり以前からその準備に入りました。(ちなみに

学年同窓会は2年に一度開催することになっており、今回は会員総会に合わせて開くことにしました。)

そのかいもあって、会員総会には24名、学年同窓会には47名が集いました。かつてないくらい大勢の同窓生が日本全国から来てくれました。

学年同窓会には宮本茂先生、中川経治先生も駆けつけて下さり、卒業後50年の記念すべき会に集った同窓生に、お祝いを兼ねたお言葉を頂戴しました。

当日所用があり来られなかった同窓生からのメッセージや物故者、連絡不明者が会場内に掲示される中、和やかで和気藹藹の雰囲気の中で始まりました。会は例によって同窓生各自の近況報告や事務局からの報告やらで進行していきましたが、お互い肩をたたきあいながら談笑する人、先生と話し込む人、名刺を交換する人、お互い顔を見合せて自己紹介する人、席を回って酒を酌み交わす人等様々で、あっという間の2時間30分が過ぎてしまいました。

最後に甲陽学院のうた、応援歌をみんなで歌い、次回“古稀を祝う会”で再会することを誓い無事に、名残りつきの会が閉会となりました。

卒業後はじめて会った同窓生もあり、50年の時空を埋めるには時間が足りなかった感がありますが、同窓生の“絆”と“友情”を再確認した楽しい会でありました。

(文責 学年同窓会事務局 大野忠雄)



55回 「55回生会ゴルフ」を毎年5月5日に

2012年5月5日(祝)に宝塚高原ゴルフクラブにて、13名の参加で「55回生会親睦ゴルフ」を開催し、おおいに旧交を温めました。(出席者：藤田裕之、西本憲生、大塚雄一、坂本和則、糟谷武則、石見勝弘、菅原康雄、山崎聡一、大島敏郎、岡田清、児玉潔、三代知史、小島卓)

このゴルフ会は今後も「55回生」に因んで毎年5月5日に宝塚高原ゴルフクラブで行います。気軽にご参加いただけるよう、コンペ形式ではなく親睦ゴルフ形式としました。ゴールデンウィーク中ですが、

「来年は旅行の予定がないから参加してみよう」「関西に帰省するので参加してみよう」という方、大歓迎です。

来年も2月頃に岩田さん管理の55回生メーリングリストでご案内いたします。

「70歳まで元気に続ける」ことを目標に、小島が永年幹事を務めますので、末永く「55回生会ゴルフ」を楽しみましょう。宜しくお願い申し上げます。

(幹事 小島卓)



71回 同窓会

平成23年12月30日、小川君の計らいと中村君の提起から、ホテル阪急インターナショナルにて71回卒の同窓会を開催しました。年末の忙しい時期ではありましたが、帰省途中に立ち寄っていただいた方も含め、47名が参加をしてくれました。卒後20年、皆40歳を迎え、企業また職場の中堅として多方面で忙しく過ごしている皆でしたが、それぞれの近況報告のスピーチでは昔の面影がそのまま残っていました。

当日は大野先生、上島先生、新田先生にもご参加いただき、現在の母校の状況などもお話いただき、懐かしさとともに、我々の時代と違いも感じました。二次会は大野先生に場所の提供までしていただきました。この場を借りて深謝いたします。

前回開催から15年近くになりましたが、改めて同士の絆の良さを感じた日になりました。

(矢野嘉彦)



オレオレ詐欺にご注意！

兵庫県下において、学校卒業名簿を使用したと思われる振り込み詐欺(オレオレ詐欺)の被害が多発しています。兵庫県警から母校に入った連絡によりまず、短期間に同一校の卒業生の両親宅に息子を騙り、「風邪を引いた。携帯電話の番号が変わった。」「人妻を妊娠させてしまい示談金がある。」等と電話をして、現金を騙し取るという手口が目立っているとのことです。

新聞紙上でも、「オレオレ詐欺再び急増」「県内被害額昨年の5倍」「特定高校OB狙い」「スマホ人気も悪用」(以上、6月6日付『神戸新聞』)、「大阪のおばちゃんだまされてるやん」「卒業名簿が流出」「詐欺師も関西弁」(以上、6月22日付『朝日新聞』)、「進学校狙い『オレオレ』」「同窓会名簿を悪用か」(以上、6月30日付『読売新聞』)などと報道されました。

卒業生およびその家族の方々には、どうぞご注意ください。よろしくお願いいたします。

(右に兵庫県警察本部生活安全交通課からの「防犯ニュース」を掲載いたします。)

発行年月日 平成24年 6月 日
発行 兵庫県警察本部生活安全企画課
078-341-7441(内線3472、3)

オレオレ詐欺急増！

学校卒業名簿等を利用したと思われるオレオレ詐欺が多発しています。

最近のオレオレ詐欺の特徴点

- 1 「電話の番号が変わった。」と連絡がある。
- 2 子どもの名前をかたってお金の振り込みを求める。
- 3 「今日中の振込が必要。」と急がせる。

だまされるな！



こういった電話があれば警察へ
すぐに相談を

第10回同窓会ゴルフ報告



第10回 甲陽学院同窓会ゴルフ

開 催 日：2012年4月28日

隠しホール：(OUT) 1 2 4 5 8 9

競 技 方 法：Wペリア (掛け率：1.0)

(I N) 10 11 13 14 17 18

スコアーカット：(男性)9切り (女性)9切り

最大ハンディ：(男性) 36.0 (女性) 36.0

順 位 決 定：ローハンディ 生年月日

順位	プレイヤー	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	新HD
1	大山 司	39	42	81	10.8	70.2	6.
2	吉田 忠二	53	53	106	33.6	72.4	27.
3	大西 久光	40	37	77	3.6	73.4	3.
4	織部 成一	47	47	94	20.4	73.6	
5	石川 義明	44	46	90	15.6	74.4	
6	杉原 喬生	50	45	95	20.4	74.6	
7	坂本 和則	44	44	88	13.2	74.8	
8	小谷 明	51	41	92	16.8	75.2	
9	小鯛 信彦	45	53	98	22.8	75.2	
10	平田 豊	55	42	97	21.6	75.4	

中村貞三 (35回) 記

標記のゴルフコンペが快晴に恵まれた4月28日(土)、いつもの武庫の台ゴルフコースで、9組35名参加の下行われました。

今回はゴルフ評論家、ゴルフ場設計者として有名な同窓の大西久光氏(37回)が参加され、沢山のゴルフ手袋や著書などを頂き幹事は大助かりでした。そして3位入賞グロス77で廻られ皆さんを驚かせました。優勝は大山司君(56回グロス81)でした。同窓が大勢居る関電経営の武庫の台がどれくらいサービスしてくれてるの?の質問がありました。今回は当日グリーンフィー¥15800を昼食付き¥14000に、他にキャディバッグ・手袋2・ボール2ダースを頂きました。

大西氏以外に今回賞品を提供頂いたのは次の方々です。サクラクレパス(画材)、織部氏(商品券)、田中和人氏(木器窯陶工・盛り鉢)、橋本宏氏(ワインなど)、有り難うございました。

次回第11回同窓会コンペご案内

10月14日(日)「武庫の台ゴルフコース」

※8時00分集合

8時20分アウト・イン分かれてスタート

※プレーフィー ¥14,000 (昼食代参加賞ボール含む)

※懇親会費 ¥3,000

10組40名満ち次第締め切り

参加申し込みは下記の何れかへ締め切り9月30日

中村貞三(35回)

TEL&FAX 072-777-1009

Eメール teisan@d4.dion.ne.jp

携帯メール teisan51257767@docomo.ne.jp

[大西久光氏スピーチ要旨]

今回、参加させて頂きました大西です。まず最初に感じますのは、私も長年ゴルフをしておりますが、私より先輩の方々が、多数、元気にプレーされておられ、非常に喜ばしく、また素晴らしいなということです。私もあの歳までできるだろうかと思っておる次第です。

折角の機会ですので、本日はゴルフに関してみなさんが意外と気づいていないことをいくつかお話ししたいと思います。

一つ目は、他のスポーツと違い、ゴルフには審判がないという点です。プレーヤー自身がアプローブして申告するつまり自分が審判というわけです。ルールブックの第1章にも記載されていますが、「他人へのマナー」が最も重視され必要とされるわけです。私は、これがゴルフの最も素晴らしい点だと思います。次に、ドレス・コード(服装

規定)はルールブックにはありません。まわりの人に嫌な感じを与えないよう自らが配慮すべしということです。これも先ほどの、マナーやエチケットに通ずる点です。

ゴルフにはハンディ・キャップ(HC)がありますが、この語源についてお話したいと思います。ゴルフ発祥の地スコットランドでは、昔、マッチプレーでのベットが一般的でした。ホールアウト後に各自がコインを1つの帽子に入れ、そのお金でプレー後の集まりを楽しみました。そして足りない分は、仲間の裕福な人が残りを払うのが習慣でした。“Hand in Cap”これが「ハンディ・キャップ」となったわけです。これも紳士的ですが、すべてにおいてそうかという、実は顎の高いポケットバンカーから他のプレーヤーに分からないように如何に巧くスイングした振りをして実際には手で出すかという技にも熱心だったという話もあります(一同爆笑)。

石川遼選手について(少しお話したいと思います)。先の「WGCブリヂストンインビテーショナル」では、アダム・スコットがタイガーの元キャディであるスティーブ・ウィリアムスと組んで見事優勝を果たしました。石川遼選手も、海外のもっと優秀なキャディと組んで、そこから多くのことを学び経験を積んで、力をつけていってほしいと思います。技術的な点もさることながら、技術以外の点も学んでほしい。最近の石川選手は、打ち急ぎが目立ちます。ティーグラウンドや次の地点まで移動する際のキャディとの歩調や移動のテンポなど、タイガーや他のトップレベルの選手は巧みに利用しています。こういったところも参考にして学んでほしいと思います。

みなさんもお承知の通り、歳を重ねるとともに体力的な面や身体の硬さが気になってきます。ゴルフは左ひざが特に重要です(右打ちの場合)。普段からひざのケアを行うことをお勧めします。また、飛距離を生み出すパワーという点では「肩の回転角度」と「腰の回転角度」の差が重要になりますが、トップ・プレーヤーほどこの差が大きいのです。そこで、簡単な方法をお教えします。(道路を渡る時の要領で)顔を左右に交互に向ける動作を何回か行ってください。これは首のストレッチになり、柔軟性が良くなることで、バックスイングからフォローまで顔の向きや頭がぶれることなく肩が回りやすくなります。ぜひ、試してみてください。

最後に、ゴルフ界はタイガー・ウッズ選手が出てこない面白くないですね。

本日はありがとうございました。



優勝者 大山 司君(第56回)の弁

第10回を迎えた同窓会ゴルフ、年2回のコンペがここまで続いたのはひとえに幹事の尽力かと思います。4月28日の雲一つ無い空が晴れ渡ったのも皆さんの願いが通じたからでしょう。今回の同伴者は平田名誉会長、(株)織部商店織部氏、そしてゴルフ界のパイオニアであり、重鎮でもある大西久光氏の皆さんでしたので緊張のため眠れず深酒するほどでした。しかしプレーが始まると皆さん童心に戻られたのか、白球を追いかけて一喜一憂する姿に緊張は解け、話も和気藹々と弾み、クラブも軽く結果としてグッドスコアで上がっていました。ゴルフというものが遊びではあっても人の心を通じ合わせてくれる事を感じた喜びの一日でした。有り難うございました。



☆ 今年の音展は9月22日(土) ☆

今年は秋分の日が例年より一日早いので、高等学校の「音楽と展覧の会」もそれに合わせて9月22日(土)に開催いたします。音展は今の母校の様子をじかに見る良い機会です。先輩から引き継いだ伝統を守りつつ、未知の分野にも挑戦しようとする後輩たちの姿をぜひご覧下さい。

普段は母校を訪ねるきっかけに乏しい方も進学・就職あるいは結婚・子育て等近況報告も兼ねてこの機会に一度参加されてはいかがでしょうか。皆様のご来場を生徒・職員一同心よりお待ちしております。

なお、中学校の音展は例年と同じく11月3日(土)の文化の日を開催いたします。

甲陽史学会開催のお知らせ

日 時：平成24年 8 月25日 (土) 午前 9 時30分～午前11時
場 所：ノボテル甲子園
報告者：田辺征夫 (44回、大阪府文化財センター理事長)
テーマ：『発掘成果から「平城京遷都の詔」を考える』

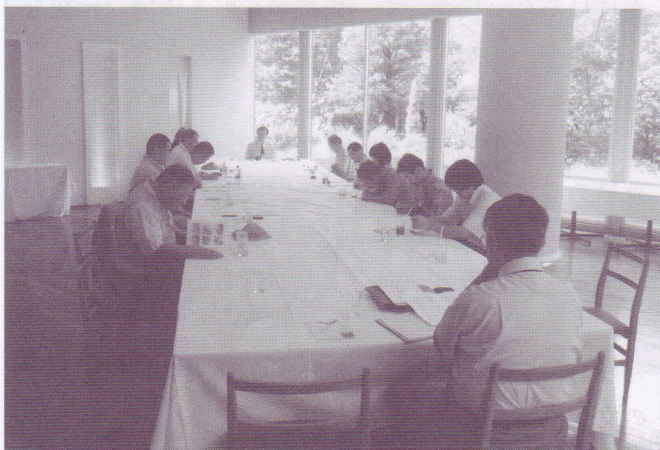
甲陽史学会は、田岡香逸先生、高井悌三郎先生、宮川秀一先生により発足し、現在その名を継承し、同窓会の協力を受け、甲陽学院関係者を中心に活動しています。在校時代の所属クラブにかかわらず、同窓生各位のご参加をお待ち致しております。資料準備の都合上、出席を希望される方は、久義裕 (62回) yhisa@aol.comまでメールにてお知らせいただければ幸いです。当日参加も歓迎します。

甲陽史学会

平成23年 8 月28日 (日) 午前 9 時30分よりノボテル甲子園において、同年 1 月に逝去された酒井一さん (31回) を偲び、同じ専門分野について、現在伊丹、宝塚、東播を研究フィールドとして多方面に活躍される大国正美さん (神戸深江生活文化史料館) が「酒井一先生と近世地域史研究」と題する報告を行なった。報告者と酒井氏の関係、酒井氏の歩み・研究の視点、大塩事件研究会、自治体史・史料保存運動、今後の活動が主な内容であった。また三重大学における教え子で成正寺副住職有光友昭氏も参加し、酒井氏の思い出を語った。

当日の参加者は、有田和男 (31) 新井栄一郎 (37) 江寄健一郎 (38) 橋本久 (41) 澁谷元 (43) 奥山哲夫 (44) 木谷義紀 (44) 五十川伸矢 (50) 久義裕 (62) 山内英正 (教員) 青木政幸 (辰馬考古資料館学芸員) 有光友昭・田岡春夫・田岡潤子・平松清雅

久義裕 記



サッカー部定期戦のお知らせ

本年 9 月 9 日曜日、甲陽学院中高と灘中学校高等学校との間で長年にわたって行なわれてきたサッカー部定期戦が、甲陽学院中学校のグラウンドにおいて開催されます。今回は第60回の記念すべき大会となりますので、通常の定期戦とはことなつた催しも企画されています。例年のようにOB戦をおこなった後、両校OBによる懇親会がOB会長中村氏を中心として行なわれる予定となっています。サッカー部OBの皆様におかれましては、ご多忙とは存じますが、現役生の試合の応援、OB戦へのご参加、懇親会へのご参加、などよろしくお願い申し上げます。

なお、当日のおおまかな予定は、9 時より中学生、10 時半より高校生、12 時よりOB戦、その後、中高各学年のゲームを行ないます。

第10回甲陽ウィンドアンサンブルのタベ

日時：2012年 8 月15日 (水) 午後 3 時開演
場所：西宮市民会館アミティホール (阪神西宮駅下車すぐ)
出演：甲陽学院高等学校アンサンブル部／
甲陽学院高等学校アンサンブル部OBバンド
曲目：ムーアサイド組曲／イギリスの海の歌による組曲／
キャッツテイルズ 他
入場無料

1993年に第 1 回を行ったこの演奏会も今年で第10回を数え、20年目の節目を迎えました。

今回は初めてアミティホールで行います。第 1 部は現役高校生、第 2 部はOBバンド、第 3 部は現役とOBの合同バンドのステージです。

多くの皆様のご来場を心よりお待ち申し上げております。

☆「会報・甲陽だより」の原稿募集 ☆

*次号・第87号は、来年 2 月末頃に発行を予定しています。

*「会員だより (同期会・クラス会)」・「運動部・文化部のOB会だより」・「詩・短歌・俳句の発表」・「クラス会・同好会・研究会等の連絡」などのご投稿をお待ちしています。

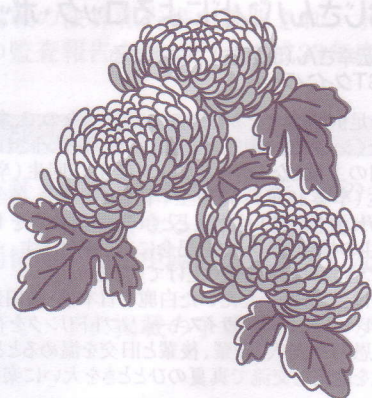
*原稿の締切日は、来年 1 月10日です。

訃報

(平成24年6月30日現在)

事務局では左記会員の逝去の報に接しました。
謹んで哀悼の意を表します。

渡辺	正男氏	(10回)	08年9月10日
西村	祝善氏	(15回)	12年3月9日
村田	剛氏	(16回)	00年8月30日
山田	忠男氏	(16回)	12年3月7日
大野	敬一氏	(17回)	11年9月7日
井上	勉氏	(18回)	12年3月7日
佐々部	春生氏	(20回)	11年6月5日
塩井	清氏	(20回)	11年8月16日
坂本	裕氏	(21回)	11年10月9日
守山友三郎氏		(22回)	12年1月24日
羽間	重光氏	(22回)	11年12月22日
木瀬	虹児氏	(23回)	12年2月20日
喜多河育造氏		(23回)	08年3月2日
末廣	和正氏	(24回)	11年2月5日
土屋	寛氏	(24回)	12年3月19日
片山	孝一氏	(25回)	12年2月12日
長瀬	亘氏	(25回)	11年11月27日
山田	一郎氏	(25回)	11年8月10日
岩本	武氏	(28回)	12年4月15日
松尾	喬二氏	(32回)	11年12月26日
木南	至博氏	(33回)	11年5月11日
池知	孝博氏	(33回)	07年11月24日
新地	剛宏氏	(36回)	11年4月10日
堤内	正美氏	(37回)	11年7月



木下	俊彦氏	(39回)	12年3月29日
四井	光氏	(39回)	12年6月2日
山口	志朗氏	(39回)	12年3月14日
坂戸	正和氏	(40回)	12年3月21日
桑井	日出夫氏	(42回)	11年11月25日
横内	茂氏	(48回)	11年12月7日
小泉	一正氏	(高商1)	10年10月13日
本郷	雄吾氏	(高商1)	12年1月25日
國友	季雄氏	(高商2)	11年5月23日
秋岡	登氏	(工専2)	10年4月28日
浅井	恭之氏	(工専2)	08年5月10日

■ あて名ラベルの記号の見方

既に終身会費や年会費をお納めの方には失礼ですが、今回も振込用紙を同封しております。未納の方は、よろしくお納め下さい。

平成24年5月31日現在での同窓会費の納入状況をご案内しています。

例：終身会員H20年度

② 枠内には、順に平成元年度、2年度、…23年度の
年会費のお支払い状況を示しています。

▼記号の意味

1	当該年度分の年会費を納入済	終	当該年度に終身会費を納入	♪	甲陽学院に在籍
0	〃 未納			卒	その年の3月に卒業

従いまして、枠内に含まれる〇の個数 × 年会費が、未納の年会費となります。
同封の振り込み用紙にてお支払い下さい。

★H元年以降にご卒業の方は、卒業時から7年分の年会費を予めお納め頂いております。
次の2つの例をご参照下さい。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪	♪ ♪ ♪ 卒 1	1 1 1 1 1	0 0 0 0 0
0 0 0			

H16以降は未納です。
未納分をお納め下さい。

♪ ♪ ♪ ♪ ♪	♪ ♪ ♪ ♪ ♪	♪ ♪ ♪ ♪ ♪	卒 1 1 1 1
1 1 1			

H16年3月にご卒業、さらに1年分の年会費を頂いたので、H23年度まで納付しておられます。

◎尚、年会費を納められるとき「何年度分」と指定されても、過去分が未納の場合、そちらへ充当させていただいております。また不明の場合は、事務局までお問い合わせ下さい。

同窓会最大の行事 夏の会員総会

甲陽学院創立95周年・同窓会発足90周年 記念同窓会会員総会に集まるう

8月25日(土) 11時～15時 受付10時より 於ノボテル甲子園1階 鳴尾の間

甲陽学院の同窓生にとって夏の風物詩となっている同窓会の最大イベントの会員総会、今年も例年通り8月の第4土曜日に甲陽学院創立の地、甲子園のノボテル甲子園で開催いたします。今年は学校が創立95周年であるとともに、同窓会が発足して90周年という大きな区切りとなる記念すべき会員総会です。

「明朗・澁瀨・無邪気」を校風とする甲陽は、伊賀駒吉郎先生が大正6年(1917)に創立し、辰馬本家酒造当主の辰馬吉左衛門翁が「百年の計は人を植うるにあり」との大志のもとに私財を投じられた甲陽は、「明朗・澁瀨・無邪気」な甲陽健児たることを校風として、これまで多くのすぐれた人財を育ててまいりました。

本年めでたく学校は95周年を迎え、併せて同窓会も90周年を迎え百年の計にそれぞれまた一歩近づきました。

今年の夏は90周年という2度と来ない記念の会員総会に、どうぞ先輩も同期も後輩も、家族、友人、知人、そしてガールフレンドも誘い合わせの上、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

今年のゲストは
甲陽では稀有の
ジャズに魅せられ本場アメリカに学び、
ベースでその道を極める異能のジャズマン
OB。

日本を代表する

ジャズメンや歌手と共演する60回生の納 浩一さん

1960年生まれの大阪育ち、愛日小学校から入学、1年の担任は体育の静先生だった。ビートルズやローリングストーンズの影響でロック、ジャズに傾倒、音展にバンドを組んで出演した。スポーツはサッカー部で活躍、今もクラブチームでプレイしている。高2までは甲子園の旧校舎に通った世代である。1980年に京都大学に入学して機械工学を学んだが音楽への思い止みがたく、卒業後米国ボストンのバークリー音楽大学に留学した。1985、86年度バークリー・エディ・ゴメス・アワードを受賞。1987年同大学作曲編曲科を卒業した。

帰国後はジャズミュージシャンとしてライブハウスやスタジオセッションで活動。渡辺貞夫グループのレギュラー・ベーシストとして全国のライブハウスやモントルー・ジャズフェスティバルを初め、海外のジャズフェスティバルに多数出演。また森山良子、桑田圭祐、石井竜也、平井堅、チャカ、マンディ・満ちる、Birdなどのポップス系ミュージシャンのレコーディングやツアーにも参加し幅広い活動をしている。

2001年よりユニット「EQ」でアルバムをリリースするとともに、ライブ活動を積極的に展開する一方、洗足学園音楽大学で音楽科ジャズコースのベース講師として後輩の指導に当たっている。リーダーアルバム「三色の虹」、布川俊樹との共同アルバム「DuoRama」「DuoRama2」をリリース。「ジャズスタンダード」などの教則DVDを制作しジャズスタンダード曲集「ジャズスタンダード・バイブル」を出版し好評を博している。今年の7月も渡辺貞夫、森山良子とそれぞれ3回ステージで共演している。大阪では北区太融寺の大阪ロイヤルホースをライブの拠点としており月1回ぐらいのペースで出演している。

第1部 式典と 〇ベースとピアノによるジャズ ライブ

演奏 エレクトリック&アコースティックベーシスト
納浩一さん(60回生)
ピアノ 細川正彦さん
対談 トーク「ジャズに魅せられて」
納浩一さんに河内厚郎さん(52回生)が聞く

第2部 懇親パーティと 〇おじさんバンドによるロック・ポップス

演奏 高原宏幸さん(52回生)が主宰する
NOSTクインテット

同窓会発足90周年となる記念の会員総会なので、参加者全員にもれなくシックでメモリアルな記念品がプレゼントされます。

また、今回の主役となるホームカミング学年43回生(卒業50年)、58回生(卒業35年)、68回生(卒業25年)は、各学年ごとにステージに登壇していただくとともに、母校校章を七宝で形どった特注の携帯ストラップを記念に差し上げます。ぜひご参加をいただき会員総会を盛り上げてください。

懇親会では、ご寄贈いただいた白鹿の日本酒・山田錦とサントリーのプレミアムビール、ウイスキー、ソフトドリンクを存分に味わいつつ恩師や友人、先輩、後輩と旧交を温めるとともに、学年や世代を越えた交流で真夏のひとときを大いに楽しんでください。

またこれまで、平成19年から4回にわたって総合司会をつとめていただいたNHKアナウンサーの真下貴さん(69回生)が東京放送局へ全国放送担当として今春栄転されましたので、総合司会は元朝日放送アナウンサーの阿部京子さんに担当していただくことになりました。久々の女性登場です。ご期待ください。

◇当初出演の予定でありました嶋本昭三氏(24回生)は体調不良のため参加が難しくなりました。あしからずご了承ください。



共演のピアニスト細川正彦さん

東京生まれ。11歳の頃FM放送のジャズを聴き興味を持つ。以後成人するまでポップスからクラシック、民俗音楽までを聴き、大学時代からピアノを弾き始める。同時に新宿のピットインなどのライブハウスに出演する。大学中退後、ライブ演奏だけでなく、映像音楽等の作編曲を始める。27歳の時ヨーロッパに遊学して東京生活に疑問を感じ30歳で福岡に居を移して音源制作を中心に活動。40歳で熊本県の御船町に居を移し演奏活動を再開する。国内だけでなく、イギリス、オランダ、ルーマニアなど、海外でも演奏しており、これまで5枚のアルバムを発表する一方、レコーディングプロデューサーとして様々な音源制作に携わっている。



Information

- 日時 平成24年 8月25日 (土)
 第1部 11時～12時45分
 第2部 13時～15時
- 会場 ノボテル甲子園 鳴尾の間 (1部)、甲陽の間 (2部)
 西宮市甲子園高潮町 3-20
 TEL 0798-48-1111
- 会費 一般会員 6,500円 (当日会費)
 学生会員 2,000円 (当日会費)
 同伴家族 2,000円 (当日会費)
 新卒者 (平成24年 3月卒業) 無料
- 申込方法 同封の振込用紙で、8月16日 (木) までに会費をお振込下さい。
 または 8月20日 (月) までに事務局へ参加のご予約を下さい。
 (葉書、電話、FAX、メールにて)
 ご予約の場合特別割引として、一般会員6,000円、学生・同伴家族は1,500円とさせていただきます。
- 問い合わせ 甲陽学院同窓会事務局 〒662-0096 西宮市角石町3-138
 TEL 0798-71-4888 (月・水・木・金) 10時～16時
 (8月12日～19日は母校夏期閉鎖期間につき不在となります)
 FAX 0798-71-4890
 メール fvgp1650@mb.infoweb.ne.jp
- ☆当日の料理・名札の準備がありますので、できるだけ事前振込ご予約をお願いいたします。
 ☆まだまだ暑い頃ですので、当日はカジュアルな服装でご参加ください。
 ☆平成15年の役員総会の決議で、新卒者以外の無料会員の制度が廃止になりました。上記の会費で運営致したく、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

おじさんバンドNOSTクインテット

高原宏幸さん (52回生、大阪大学法学部からりそなホールディングスのビジネスマンにそして・・・) が主宰するバンド、名前の由来は2002年夏結成した当時のメンバーの頭文字をつないだもの。その後オリジナルメンバーは高原さんだけになっているが名前は変更せず現在に至っている。70年代のアメリカや日本のロック・ポップス (イーグルスやはっぴいえんど)

がレパートリーの中心だが、若いボーカルが加わって最近のポップスもカバー。八尾のシルキー・ホール、ミナミのケントなどで多くのアマチュア・ミュージシャンと共演した。



総合司会は紅一点

阿部京子さん

日本レコード大賞の賞を取ったヒット曲を連発した作詞家麻生香太郎 (52回生・東京大学文学部卒業) の妹さん。神戸女学院大学在学中から朝日放送ラジオのパーソナリティをつとめ、その後テレビ、ラジオ、をはじめ司会、ナレーション、アナウンス指導など幅広く活躍中。淡路花博、姫路菓子博、神戸ビエンナーレなどのビッグイベントの司会を担当するほか、後輩のアナウンス指導を手がけている。

また古典 (能・狂言)、コンサートなどの企画も手がけている。「もうすぐ夜明けABC」や「ABCヤングリクエスト」など多くの番組に出演、きつと勉強の合間、その声に励まされた同窓生も多い筈です。ちなみに兄・麻生香太郎さんのヒット曲は、森進一の「新宿・みなと町」や野口五郎の「針葉樹」、小柳ルミ子の「花車」など多数です。



会員総会に参加して

同窓会90周年記念品をゲットしてください

参加者全員への記念品

<シックでメモリアルなフォトフレーム>

甲陽で過ごした10代の多感なあの頃を想う時、まず脳に浮かぶのは毎日通ったあの学び舎ではないでしょうか。参加者全員に差し上げるのは、今はなき甲子園と香櫨園の校舎の面影の写真が入ったシックなレザー製K判サイズ (17.5×22cm) 見開きのフォトフレームです。

あなたの書斎の文机やリビングルームの棚の上に置けばぴったりと納まります。甲陽95周年・同窓会90周年のメモリアルグッズとして是非ゲットしてください。

なお余分にご希望のかたは先着100名様まで5,000円でお求めいただけます。(今回は当日会場でのみの販売となります)



ホームカミング学年への記念品

<校章入り携帯電話ストラップ>

母校への思いをどの世代も変わらずイメージできるものは校章です。シンボライズされた校章を七宝で形どったストラップです。

ご希望の方は、当日会員総会の会場で1,200円でお求めいただけます。



告 知 板

☆「ノホテル甲子園」の優待券 ☆

甲陽学院同窓会会員用に「宿泊15%割引」「レストラン&バー10%割引」の優待券を発行していただいています。2013年12月30日までの優待券が事務局にありますので、ご希望の方は、お手数ですが、事務局までお電話・FAX・Eメールにてご請求ください。

☆ ご注意！住所・電話番号の問い合わせ ☆

最近、「甲陽学院同窓会」や「甲陽高校事務室」の名前を騙り、同窓生の携帯番号や住所、メールアドレスなどを問い合わせる電話がかかっているようです。

現在、同窓会や母校でそのような調査活動をしている事実はありません。

皆様には、先方の名称・住所・電話番号などをご確認いただいて、慎重な対応をお願いいたします。

☆ —お願い— 住所変更の届け ☆

- * 会報の発行に際し、毎回・約100通に近い会報が転居先不明で戻ってきます。
- * その都度、事務局で労力と時間をかけて、転居先の調査を行い再発送を行っています。事務局の確認作業にも限界があります。住居を移転された時は、忘れずに事務局まで住所移転の通知をお願いします。
- * 各回卒の理事・評議員の皆様は、同期の方に住所・勤務先等の変更の連絡がありましたら、必ず事務局にも、ご連絡の程お願いを申し上げます。

☆ 理事・評議員の皆様へ ☆

- * 理事・評議員の皆様の中で、転勤などで関西から遠くに転居された方が目立ってきました。更に理事・評議員が選出されていない卒業回、また定員不足の卒業回も見られます。
- * 同窓会を運営し活動を行う上で、理事・評議員の方々は重要な役割を担われており、同期の方々の代表でもいられます。会則上、理事・評議員は同期の方々が適宜の方法で選出をされることになっています。よって理事・評議員が空白の卒業回、また定員不足の卒業回の方々は、同期の方々と話し合いをされて、その更新・補充を事務局までお届けをお願いします。
- * 選出の人数は、理事は、同期（卒業回）から1名。評議員は、各クラスから1名（5名以内）です。

☆ 新卒者の終身会費制度 ☆

今年高校を卒業した93回生の皆さんは、卒業時点で終身会費を納めることを選択できます。

また、これに伴い、卒業後7年以内の方（卒業時に7年分の年会費を前納）でも、ご希望により終身会費制に移行していただけるようになっています。その際の金額はP.3の表をご覧ください。

☆ お 詫 び ☆

甲陽だより本号の発行が予定より大幅に遅れましたことをお詫び申し上げます。

会報編集委員一同

今すぐご予約を！

夏の恒例 会員総会

8月25日(土) 11時～15時 於：ノホテル甲子園

— 詳細は14～15ページに —